

令和3年度

第1回 上越市総合教育会議 次第

日時：令和3年7月14日（水）

午後1時30分～3時

会場：上越市役所木田第1庁舎401会議室

1 開 会

2 市長挨拶

3 協 議

「これからの学びの場づくり・人づくり ～ICT・オンラインを活用した学び～」

4 その他

5 閉 会

令和3年度 第1回 上越市総合教育会議 出席者

○ 構成員

役 職	氏 名
上越市長	村 山 秀 幸
上越市教育委員会 教育長	早 川 義 裕
上越市教育委員会 教育長職務代理者	大 谷 和 弘
上越市教育委員会 委員	中 野 敏 明
上越市教育委員会 委員	本 間 倫 子
上越市教育委員会 委員	山 縣 知 子

○ 市長部局関係職員

役 職	氏 名
理事	八 木 智 学
総務管理部 総務管理部長	笹 川 正 智
総務管理課長	瀧 本 幸 次
総務管理課参事	長谷川 由紀子
総務管理課情報政策室長	水 澤 弘 光

○ 教育委員会事務局関係職員

役 職	氏 名
上越市教育委員会 教育部長	市 川 均
歴史文化指導監	中 西 聰
教育総務課長	新 部 彰
教育総務課参事	戸 田 正 明
学校教育課長	野 田 晃
社会教育課長	小 嶋 栄 子
その他、上記各課副課長、担当職員等	

これからの学びの場づくり・人づくり
～ICT・オンラインを活用した学び～
令和3年度 第1回 上越市総合教育会議

1 学期中に市内小・中学校で行われていた取組

1 GIGAスクール構想について
 ①2018年 PISA 調査で日本のデジタル読解力の低さが明らかになった。
 ②新学習指導要領で情報活用能力が「学習の基盤となる資質・能力」として位置付けられた。
 ↓
 ◎1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたち一人一人に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育 ICT 環境の実現
 ↓
 ◎子どもたちを誰一人取り残すことなく個別最適な学びや協働的な学びを実現する。

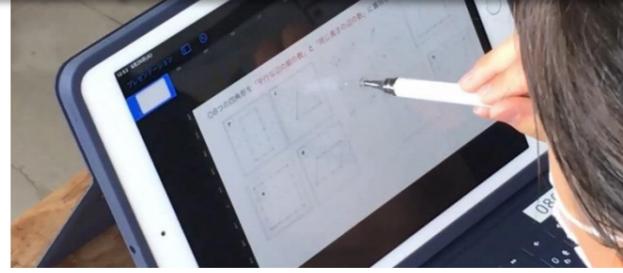
2 上越市のGIGAスクール構想
 <高速大容量の通信ネットワークの整備>
 ・多人数校に大容量の専用回線を敷設
 ・普通教室に無線 LAN を新設、校内 LAN を整備
 <1人1台情報端末の整備>
 ・タブレット端末 14,259 台
 ・充電保管庫の整備
 ・学習者用クラウドの整備
 ・大型提示装置の整備

- 3 学校における活用場面**
- A 一斉学習**
A1: 教員による教材の提示
 - B 個別学習**
B1: 個に応じる学習
B2: 調査活動
B3: 思考を深める学習
B4: 表現・制作
B5: 家庭学習
 - C 協働学習**
C1: 発表や話し合い
C2: 協働での意見整理
C3: 協働制作
C4: 学校の壁を越えた学習

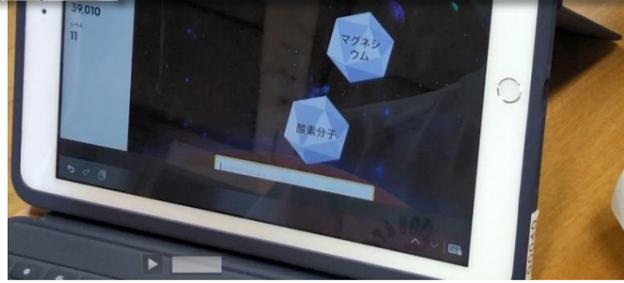
B1 個に応じる学習
アプリを使って、英文の並べ替えの練習問題を行う。



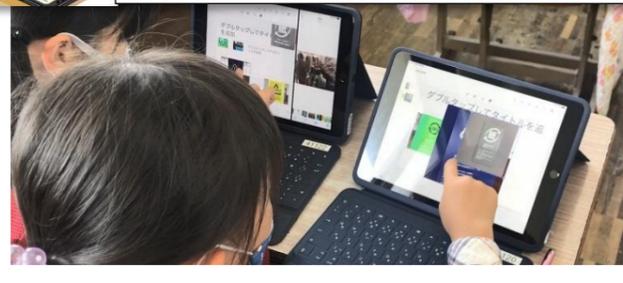
B3 思考を深める学習
図形を移動したり、線で囲ったりして、図形の仲間分けを行う。



B1 個に応じる学習
アプリを使って、元素記号の確認問題を行う。



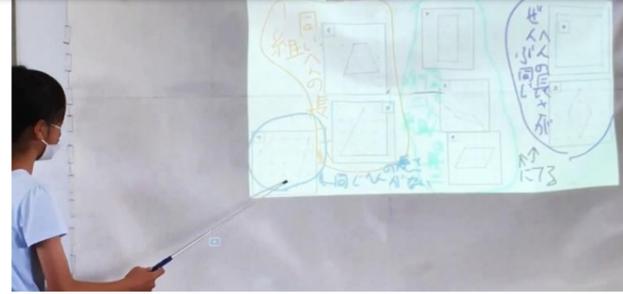
B4 表現・制作
クリーンセンターの見学で気付いたことをスライドにまとめる。



B2 調査活動
メダカの観察で、写真記録をもとに、学習課題に関する調査を行う。



C1 発表や話し合い
写真や動画も使い、分かりやすくなるよう表現を工夫してまとめる。



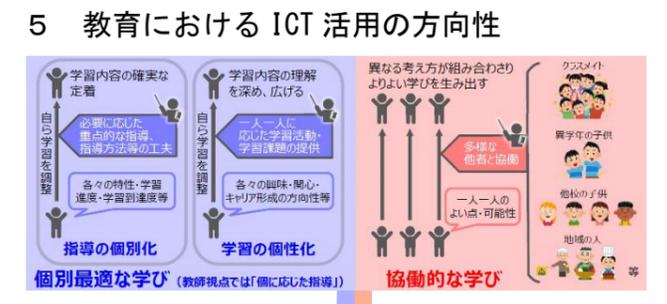
B2 調査活動
ALT の発音や自分の発音を録音し、繰り返し再生して、確かめる。



C4 学校の壁を越えた学習
他校と交流し、多人数の考えを知ったり、外部専門家から専門的な知識を得たりする。



4 支援体制
 <機器の整備>
 ・GIGA スクールサポーター(業務委託)が初期設定と運用初期のサポートを実施
 <日常のサポート>
 ・学習情報指導員(4人)が学校を定期的に訪問し、サポートを実施
 <職員研修>
 ・教育センターで悉皆研修の実施



6 課題

- 学校や教員により利活用の程度に差が見られるため、研修機会の提供や利活用を促す情報提供を一層充実する必要がある。
- 理科室や音楽室、体育館など特別教室で端末を利用できないことや、学級担任外の端末が不足しているため、利活用の状況を受けて環境整備を進める必要がある。
- 児童生徒の端末利用を日常化するため、端末の家庭での利活用について今後検討していく必要がある。
- 授業における ICT 活用による児童生徒の健康面への影響等について、実態把握を行っていく必要がある。